

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-3		事業名	交通ICカードの導入と活用			
担当	市民まちづくり局情報化推進部IT推進課プロジェクト担当 金田						
全体計画							
事業内容	公共交通利用を基盤としたICカードシステムを導入する。平成20年度内を目途に地下鉄でICカードを先行的に導入するため、具体的な検討を進めているところであるが、以後、順次、民間バス事業者との共通化を推進するとともに、ICカードを利用した少額決済(電子マネー)やクレジット決済との連携のほか、地元事業者と連携した新たなサービスや行政サービスへの活用を可能とするような枠組みも整備する。こうした取り組みを通じて、公共交通機関の利便性・快適性を高めるとともに、公共交通の利用促進と地域経済の活性化の相互作用を生み、魅力ある都市づくりを目指す。			<年度別の事業内容>			
				H21年度 ICカードの多目的利用に関する調査			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	交通局・民間バス事業者・札幌市による「札幌ICカード協議会」を設立し、カード名称・サービス内容等を決定した。			引き続き協議会において情報交換を行うとともに、今後のサービス拡大に向けた情報収集を行う。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討		-	-	-	検討	/	検討 (21年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加							
企業等との連携・協働							
[資金協力]							
[人材協力]							
[情報協力]							
[その他の協力]							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-3		事業名	交通ICカードの導入と活用	
評価(成果)				課題		
				市民へのICカードの普及に向けたサービス拡大の可能性についての研究が必要。		
今後の事業の予定・方向						
ICカードの行政利用や商業系での利用等について、ニーズや技術動向についての情報収集を行い、21年度の調査事業に備える。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	0	5,000	0	5,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	0	0	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				0.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						